

H27年度 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
 支持療法主催 市民公開講座・シンポジウム「がん治療を支える栄養」
 アンケート集計結果

※出席者 146名、 回答数 111名

I. 性別

男	19
女	89
無記入	3

II. 年齢

10～20歳代	21
30歳代	20
40歳代	30
50歳代	24
60歳代	14
無記入	2

III. 職業

一般市民	23
看護師	14
医師	4
薬剤師	1
教員	1
大学生	1
その他	63
無記入	4

管理栄養士、栄養士、歯科衛生士、言語聴覚士、理学療法士、療法士、
 歯科医師、DH、PT、リハビリ、介護職、患者、患者家族

IV. このシンポジウムは、どのような方法で知りましたか。

チラシ	41
知人、職場からの紹介	49
がんプロホームページ	2
その他	19
無記入	0

長野県栄養士会（通知、HP）、郵送、父の紹介、歯科衛生士会、
 タウン情報誌、医療タイムス、情報誌、新聞、病院内で

V. 本日のシンポジウムは、今後の参考になりますか。

参考にならない	1
どちらともいえない	1
少し参考になる	28
とても参考になる	76
無記入	5

VI. シンポジウムに関する感想、ご意見をご自由にお書きください。

- ・資料は参考にさせていただきます。
- ・もう少しゆったりしたプログラムを組んで欲しかった（盛りだくさんで忙しかった）
- ・わかりやすく、素人には勉強になりました。ありがとうございました。
- ・機質的な場合（頸部腫瘍など）でのSTのリハビリについて話が聞ければ良かった。
栄養摂取についての話はとても参考になりました。
- ・池田歯科医師の話が、特殊事例に対して時間かけすぎ、司会進行に問題あり。全体の中でのバランスが悪くイライラした。持ち時間を事前に設定しなかったのか？
内容も本日のテーマに沿って考えると参考にならず、ひどい印象だった。
- ・実際の現場での取り組みやご家族のお話が聞けてとても参考になりました。
- ・一般の人への「悪液質」の説明方法、終末期における家族との関わりの話は、大変役立つと思います。ただ患者さん自身が対象なのか家族が対象なのか、がんと関わることの少ない医療者が対象なのか、今の時点でがん治療下に悩んでいる医療者が対象なのかよく分からなかった。
- ・内容が充実していたので、時間が短く感じた。
- ・改めて口から食べる意義、コツを感じることができました。多職種からがんサポートの実際を拝聴することが出来てとても勉強になりました。
- ・私は消化器内科にいますので、そこでCa告知をされる患者さんやケモや術前の栄養管理が必要な方がいるので、気持ちの面や必要な栄養量がとれるよう関わっていきたいと思います。
- ・各職種の方の様子がわかり、勉強になりました。チームケアの大切さを感じました。大きい病院でバルーン訓練など本当に必要な治療・訓練がきちんとできるのがうらやましく思いました。
盛りだくさんで、バルーンの症例はもっと時間のある時の方が良かった。
- ・実際のご家族の体験談もお聴きでき、医療従事者としての関わり家族としての関わりを改めて考えさせられました。
- ・いろいろな視点からお話が聞けてよかったです。
- ・栄養障害についての理論や実際について学べて為になった。
- ・咽頭ガンと病名を告知されるだけで家族はショックを受けるが、それを乗り越えて、リハビリに取り組む事と、前向きに感激しました。接する態度に嬉しさが溢れて、療養中も生き生きしている事が大切。不安よりも希望を持つ大切さを感じました。
- ・いろいろな職種の方からお話しを伺うことができ勉強になりました。バルーン拡張訓練のことは知らなかったので勉強になりました。
- ・シンポジウムがあれば良かったと思う。
- ・管理栄養士さんの内容が参考になり、とても良かった。
- ・パワーポイント資料の配布をありがとうございました。
- ・全体的には、具体的にわかりやすく聞かれた。ただし、資料を棒読みする人がいて声に張りがないのでわかりずらかった人もいた。もっと練習してほしい。あれ位だったら私にもできると思ってしまった。
- ・ご家族の方の予想されることは必ず教えてほしい。早目●かわりをということが一番印象的でした。
- ・患者さんのご家族のお話が聞けて良かったと思います。
- ・まとめ役の方もご苦労かと思いますが、もう少しまとまりのある内容であると良かった。
- ・症例（家族の話）も聞くことができよかったです。内容が濃く良かったが、時間が足りず残念。
- ・順番が変更となり（案内でいただいた順番）聴講したいものが聴けなかった。変更の案内が事前にあると有難いです。
- ・日々対面することを改めて聞くことができ、今後も患者を支えるチーム医療の大切さを感じました。
- ・さまざまな職種、立場の方の話が聞けた。
- ・医療従事関係者からのお話が聞けて参考になりました。
- ・色々な職種の方のお話しを聞くことができ、よかったです。

- ・多職種の視点の違いが勉強になった。
- ・内容により、順番を変更したことで、内容を推測したり理解しながら聞くことができた。様々な副作用による症状、また食事療法を具体的に教えてもらえて助かった。今回学んだことを、QOLや患者のために活用していきたいと思います。内容とは離れますが、プレゼンテーションにおける動き、声、見出しの更なる充実と発展が必要だと思いました。
- ・がん患者さんの御家族のお話、生の声を聞かせて頂きありがとうございました。各専門の先生方のお話とても参考になりました。
- ・患者さんの家族の話を知ることが今後の患者への接し方の参考になった。全体的に理解しやすい内容だった。
- ・患者、患者の家族を中心に、多職種の医療関係者が連携をとり治療を支えていくことの重要性を改めて考えさせていただく良い機会となりました。
- ・1番発表者：早口で聞き取りにくかった。2番発表者：早口で内容が分かりにくい。3番発表者：聞き取りやすく内容が分かりやすかった。4番発表者：丁寧な話し方で分かりやすかった。5番発表者：声が明るく、聞きやすく内容も分かりやすかった。6番発表者：実際の患者家族の声が聞けて、医療従事者の1人として関わりの大切さを実感した。
- ・大勢出席してびっくりしました。
- ・患者さんの娘さんがシンポジウムに出て意見を述べてくれたことが参考になった。
- ・少しお話のスピードが速すぎたので、ついていけない所もありました。
- ・栄養ケアももちろん大事。そして、それ以前の口腔ケアの大切さも知ることができました。
- ・ガン緩和期、終末期の方を訪問リハビリを行っている人間ですが、やはり吐き気、嘔吐の問題、栄養の問題があり、それに対して参考になりました。
- ・基本的な部分は参考になるところがたくさんありました。内容が盛り沢山のなか、時間的に短く、もう少し深く聞ければ更に参考にできると思いました。
- ・リハビリに取り組んだ患者や家族、医療従事者の話が聞けて、とても参考になった。
- ・栄養や食事についての話も参考になった。
- ・色々な人に支えられて治療ができる事に感謝です。
- ・前向きに取り組める気持ちになれました。一生懸命看護してあげられたらと思います。お話を聞けてとても良かったです。
- ・とてもわかりやすく、時間が大変短く感じました。ST、栄養士など他職種の方々と連携をとり、仕事ができる場が増えると良いと感じました。
- ・多職種の話を知ることがよかった。
- ・ボリュームがありすぎて、一部の話しか聞けなくて残念。信大病院のHPを見ましたが、今日のシンポジウムの記事を見つけられませんでした。もう少し気軽に内容を知れる体制を希望します。
- ・食べられる＝QOLの維持に繋がることだが、終末期に食べられなくなった時の、患者、家族へのサポートもとても大事なことで、改めて勉強させていただきました。
- ・ST寺島さんや池田先生のお話、分かりやすかったです。患者さんご家族の生の声が聞けたことも、貴重でした。
- ・対象者が一般からがんに関わる専門職と幅広いため、内容的に企画として難しかったと思いますが、患者家族の話を知ることがよかった。
- ・長びきました。患者家族がいらっしやいました。少々違和感がありました。
- ・通院治療において、苦痛のスクリーニングシートを見せて頂きたいと思いました。
- ・一つ一つのシンポジウムが、分かりやすいよう赤い点がついているようなのを使って、ボリューム満点でとても良かったです。
- ・資料を頂いたので、わかりやすかった。口の健康も重要だとわかった。色々参考にしたいです。
- ・患者さんご家族の話を知り、改めて食べることが生きる上で生命維持以外に大きな意味を持つと感じました。
- ・以前は医科と歯科が分かれていて、口腔外科という分野がなかったけれど、今は歯科医でも口腔外科を学び歯科クリニック口腔外科手術もしているところもあると聞きます。両者が分野をわか●（わかっ？）ことでなく、ガンという病気に対し両者が行えるようになったことが最近の医科・歯科の状況と思い、よいことと思います。

- ・とても分かりやすかった。嚥下困難が予想される患者さんには、早めその予防としてST介入を紹介したいと思いました。
- ・栄養について考えるよききっかけとなりよかったです。がん患者さんは増えているので、その方を支える医療を考えていかれたらよいと思います。
- ・それぞれの専門職が栄養ということに重点をおいて、お話していただいたのが大変良かった。
- ・STの数をもっと増やすべき。とても勉強になった。多職種でのアプローチの重要性を理解できた。
- ・種々の職種の方々のお話しが聞け、いろいろな方向から新しい知識を得ることが出来、大変有意義でした。
- ・盛り沢山の内容で、とてもよかったです。
- ・あえて厳しく 歯科医師と衛生士の話はいまいちわかりにくい内容、話の速さも。
- ・どんな人でも最後まで食べられることが生きていると感じると思います。いろいろな工夫をして食べられるようにする考える大切さを感じました。実行していきたいと思いました。
- ・池田裕子先生の家族との取り組みでの治療、素晴らしいと思いました。（家族とのコミュニケーション）感動を受けました。もっと沢山お話しが聞けたらと思い、次回もお話お願い致します。
- ・終末期の栄養面でのフォローに繋がると思います。
- ・一般市民が聞いても、医療従事者が聞いても、聞きやすいよう配慮された内容だったと思います。
- ・がん患者の家族（娘さん）の話は大変有意義だった。
- ・がんのステージに合わせた食事のポイントや実際の声が聞けて、これからの仕事に役立てられそう。
- ・栄養を摂ることについて多角的に説明があり、大変勉強になりました。
- ・私自身、昨年4月に胃の全摘出をしましたので、①体動減少 ②食欲不振があります。今後サプリメント等を使ってみたいと思います。
- ・多職種からのお話を聞くことができて良かった。
- ・時間的制限もありましたが、最初の方ほど早口で、よくわかりませんでした。自分に興味がないとなかなか分かりませんが、日常に関わる所は参考になりました。
- ・各スタッフの取り組み、基本的なことに合わせ、池田先生のように事例を紹介していただけるとより有難いと思いました。特に各診療部が連携した事例を紹介してほしい。
- ・シンポジウムは1題20分という計画だったが、リハビリの発表のみ長くなってしまって…具体的な食事のことをもっと聞きたかった。
- ・分かりやすくよかったです。
- ・池田先生のお話がとても参考になった。

VII. 本日の特別講義は、今後の参考になりますか。

参考にならない	0
どちらともいえない	3
少し参考になる	20
とても参考になる	76
無記入	12

VIII. 特別講演に関する感想、ご意見をご自由にお書きください。

- ・家族支援をしていかなければならない。家族支援の重要性が理解できた。栄養以外の話も併せて聞ければさらに良かったです。
- ・後半参考になる具体的な内容でした。
- ・患者家族であったとき「食べられるとき 食べられるものを」と言われてどうすればいいか分からなかった。当院の術後栄養指導はとても厳しくて厳密に守ろうとする患者さんはかえって混乱している。先生の「対話の中で、医療者がヒントを提示する」というお話は大変心に残った。明日から実践していきたい。

- ・進んでいる病院の話で参考になった。
- ・具体的な内容で大変勉強になりました。
- ・とてもよかった。時間がなくて実際の取り組みが飛ばされてしまったことがとても残念でした。次の機会にぜひ聞きたいです。
- ・症状にあわせた食事が参考になりました。
- ・大きな病院での様子がわかりました。新しい情報が入り勉強になりました。時間が1時間では残念でした。もう少し聞きたかった。
- ・一品補食サービスに感動しました。
- ・先生の病院の食事対応が大変きめ細かに進められていて、大変参考になりました。
- ・静岡がんセンターのシステム、取り組みが勉強になりました。
- ・本日のご講演はすてきですが、長年の積み重ねでないかと感激致しました。
- ・病院での取り組み、勉強になりました。
- ・とても参考になりました。
- ・症例に合わせたきめ細かい対応をされておられることにとても感銘を受けました。
- ・現職になるまでに、色々経験・体験された人だけに、内容の説明がよかった。発表が慣れている。文章だけでなく、写真をたくさん使用していて興味深くよかった。スライドの表示方法に工夫があった。
- ・最新の情報がわかり、どの職種 栄養士さんも努力していることがわかった。
- ・具体的な内容が聞いて良かったです。
- ・実務で参考にしたい部分がカット（早送りで説明なし）されてしまい残念でした。
- ・静岡がんセンターの取り組みをもっと知りたかったが、一般的な知識が多かった、最後が早足だったので、やや不消化にかんじました。
スライドと配布資料の整合性が特になかった。資料になくても、字が大きければ分かりやすかったのですが、小さく細かかったので、残念です。
- ・色々な副作用や症状を知り、変化を早めに察知できることが必要だと感じました。
- ・他病院の取り組みを知ることができた。
- ・食事はとても大切だけれど、それだけでは解消されないこと、総合的に見ていくことが大切な事がわかった。
- ・具体的な内容でわかりやすかったです。
- ・実際にがんを持っている人へ対して何を施すべきかという提案が複数種あったので、分かりやすかった。
- ・「がん患者の口から食べるを考える」の座談会がとてもよかった。
- ・静岡がんセンターでの取り組みは素晴らしいシステムと思った。
- ・大変勉強になりました。
- ・もう少し時間をとりお聞きしたく思いました。患者サイドに立ち、より良い医療への提供にとっても重要な役割りをされているのを伺い、感動致しました。
- ・後半が急ぎで詳しく聞きたかったし、知りたかった。対応をもっと知りたかった。（レジメがない）
- ・がん患者さんにとって栄養の大切さが良くわかりました。
- ・わかりやすかった。
- ・稲野先生のはっきりしたお話がとても参考になりました。自分が家族（病人）の栄養士になる事が大切だと思いました。
- ・今はテレビやインターネットなどで様々な情報を得ることができるが、やはり正しい情報は、専門家や専門的なツールから得るべきだと感じた。参考になりました。
- ・症状に対しての栄養食事がよくわかりました。
- ・食べられない症状の問題、家族・本人の心の問題に栄養士の方が積極的で丁寧に関わっていて素晴らしいと思いました。
- ・術前の栄養管理とは、具体的に何か必要か教えてほしかった。

食事や栄養管理におけるポイントを、具体的に教えてほしかった。

自宅ですること、患者・家族自身ができることは何でしょうか？治療時期に合った食事とは何でしょうか？

食事決定に関連する要因、食事に関するトータルポイント等とても参考になりました。

- ・選択食があり、自分で選ばれるというのはとてもいいのではないかと感じました。
- ・時間の都合もあると思うが、もう少し詳しく聞きたかった。一般市民の方には難しいと感じた。
- ・時間が足りず残念。後半のスライド病院内の取り組みをもっと見てみたかったです。
- ・その人その人に合わせた食事内容やタイミングなどが選択できるサービスは、とても良いなと思いました。とても勉強になりました。
- ・がんセンターの給食対応やオーダーリングシステムまで話して頂けてとてもよかった。信大も栄養士が少ないけれど工夫すればもっとできることがあると、希望が持てました。
- ・きめ細かな対応をされていますが、施設全体で栄養に対する意識が高いのだと思います。
- ・時間の関係でボリュームで、もう少し業界用語を易しくしていただけたらとても嬉しいです。
- ・時間不足でスライドが早くて書ききれなかった。
- ・口腔ケアも重要。適度な運動も重要だとわかった。
- ・入院中の食事対応、システムに驚きました。他の病院でも細やかな対応ができるようになると良いなと思いました。
- ・良い講演だったと思います。今後もまた続けて講演を聴きたいです。
- ・よかった。
- ・とても具体的に聞くことができ参考になりました。ありがとうございました。
- ・もっとしっかり時間をとってほしい。シンポジウムが長すぎたか？
- ・とてもわかりやすく、参考になる講演だった。ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。
- ・とてもわかりやすく、実践で役立てたいと思います。
- ・なかなか他の病院での食事を知ることができないので、がんセンターでの実際が知れて良かった。いろいろな面で難しいこともあるが、参考にできるところは取り入れてみたい。
- ・患者さんに色々と教えてもらうことで食事対応の効果が出やすいと思いました。そのためにも多職種と連携することは大切だと思いました。一品オーダーして30分以内に提供できることはすごいと思いました。
- ・今まで何回か癌・口腔ケア・リハビリ・周術期など講習会を受けましたが、良い復習の機会になりました。
- ・それぞれの障害に対する対策を説明して頂いて良かった。
- ・食事の大切さがわかった気がします。
- ・がん患者さんへの対応の全体像がイメージできて良かった。食事の対応も今回聞きたい内容で良かったです。具体的に患者さんの反応など話されわかりやすかった。
- ・個々に合った取り組みがなされていて素晴らしいと思いました。
- ・シンポジウムが延びてしまって、講演時間が短くなり、とても残念。せっかく遠くから来ていただいたのに・・・

IX. 今後、がんプロフェッショナル養成基盤推進プランの企画等の希望や期待することなど、自由に意見をお書きください。

- ・なぜがんは、このように多職種の専門家に関わってもらったり支援してもらわなければ死ねないのでしょうか。患者さんのご家族の方のお話はとても参考になりました。
- ・海外のがん治療・ケアに対する考え方・日本との違い・医療技術者（リハビリなど）の関わり。
- ・「がんと栄養」と銘うつ勉強会は意外と少ない。栄養を専門にする人たちはがんは一部の疾患でしかなく、がん治療を専門にする人はさほど栄養に興味はない。また同様の勉強会を望みます。
- ・がん拠点病院でなくても、同じような役割やチームワークを作れるように努力したいと思いました。
- ・副作用に対する食事調整など、実際の症例を通した話があると、より参考になるとと思いました。
- ・医科歯科の連携。病院同士の横の繋がりが、情報交換、相談などの場がほしい。地方の病院又、歯科がない

場合、点数に関係なくどこの病院でもがん治療のために歯科治療、口腔ケアができるようになってほしい。

点数がとれなくとも口腔ケアをしていることが、点数に繋がれば良いと思う。

- ・充実したシンポジウムの開催ありがとうございました。また、このような機会がありましたら参加したいです。
- ・対象を狭めてその職種に特化したより専門なお話しが聞けるといいです。
- ・今後も食事と病気についての講座をよろしくお願い致します。
- ・今回のように支持療法の点で悩むことが多いので、企画をお願いします。
- ・「胃ろう」を設置されている患者さんに対しても信頼して安心して療養を続ける希望を増々、提示して頂きたい。
- ・医療関係者の底上げという話がありましたが、がん患者さんのQOLの要因として体重減少、栄養摂取量の割合が高く、栄養面のサポートはとても重要になります。EPAの話も出ましたが、特に栄養面についての最新情報も含めた内容の講座を希望致します。
- ・支持療法の考え方、トピックス、アピランスなど。
- ・通院でのがん治療が増えている現在、がん患者と家族にとってどういう食事をすれば再発のリスクを減らせるかが切実な問題です。しかしあまりにも多くの情報が溢れており、何が良い選択か見極めるのは難しい状況です。最新の腸内細菌の役割の新たな知見なども踏まえ、参考となる情報をお聞きできれば有難いです。
- ・がんのリハビリテーションについて。地域のがんに対するフォロー体制、制度について。
- ・定期的に職種別に勉強会を行っていただきたい。
- ・北信（長野県の他の場所）でも開催してほしい（可能であれば） 駅から近い会場を希望します。
- ・心的サポートの難しさをいつも感じています。患者だけでなく、家族について、心理士の方からなど「死」、「受容」など話を聞いてみたいです。
- ・貴重なご機会をありがとうございました。
- ・がん患者の家族ですが、インターネット等の情報がたくさんありますが、本当に自分に必要な情報を得るのはとても難しいです。医療者向けはもちろん、患者に対しても、このような機会が増えてほしいと思います。
- ・医療従事者と共に、一般市民への啓蒙活動を増やしていくことを期待します。
- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。スキルアップ、患者様の為にもまた参加したいと思いました。
- ・信大病院に入院すると、入院患者さん用に食事メニュー希望が出来るのはとても良い事です、そのメニューは文字ではなく、写真、イラスト、カラーであってほしい。文字よりも視覚に訴える方が食欲がわくと思います。1日1品でも、新メニューでも、おいしさのアピールの為に。
- ・是非これからも希望します。
- ・疼痛管理。
- ・家族にがん患者がいますので、今回参加させていただきました。今後の食事ケアの参考になります。ありがとうございました。とてもよい機会だと思います。次回もあれば参加したいです。
- ・症例を通じての取り組みや工夫。終末期の関わり、支援（補液の必要な時とそうでない時・等）
- ・具体的事例や日常生活に結びつく、講座、シンポジウムだとわかりやすいと思います。
- ・安心してがん治療ができるように、専門の方達頑張ってください。
- ・栄養の勉強になりました。他分野の話なども聞いてみたい。
- ・短時間のミニ講演会を希望します。
- ・いろんな部類に分けて説明していただき、部分部分だけでなく、全てが分かった気がして嬉しかったです。栄養の中で、分かる事や知った事が増え、良かったです。
- ・がん患者なので、大変参考になりました。有難うございました。
- ・患者さんが自己決定できるような患者と医療者の関係作りができればと思います。昔よりはパートナーシップと言われていますが、やはり医療者に対して遠慮、委縮してしまうことが多いので、生き方に寄り添える医療者が増えてほしいです。
- ・このような推進プロジェクトがあるとは知りませんでした。
- ・痩せたりすると、義歯がどうしても合わなくなり、義歯を入れないと必然的に柔らかいものになってしまうので、

やはり食べることを支える歯科医師、歯科衛生士さんも大切なチームの一員だと思います。医科歯科連携の発展を祈念します。

- ・がん治療を受けた患者自身の声も聞きたい。
- ・緩和ケア。
- ・初めて(?)の企画、準備などスタッフの皆さんはとても苦勞なさったのだと思います。家族の参加はとても良いと思いますし、一般の方にとってはなお更だと思います。がん治療や研究の基幹病院として、今後もこのような企画を続けていただくことを期待します。その折にはぜひ参加させていただきます。
- ・運動療法についても知りたいと思いました。
- ・患者とご家族により添った公開講座をこれからも開催していただけたらと思います。
- ・化学療法の中の口腔ケアについて、経過に沿った対応を知りたい。特に粘膜炎症状の強い時のケアの実際。